

「互いに認め合い 学び合い 高め合うチーム金剛寺」

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- 1 私たちは、法令等を遵守します。
- 2 私たちは、子ども、保護者、地域の信頼を裏切りません。
- 3 私たちは、子どもたちの安心・安全に努めます。

不祥事根絶のための行動計画

廿日市市立 金剛寺小学校
作成責任者 校長 末岡 信子

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○職員間の対話の時間が若干少なく相談し合える環境整備に課題がある。 ○「自校では起こらないであろう」という雰囲気が若干ある。	○よりつながることで不祥事は防止できるという考えに至るようにする。 ○自らの言動に責任感をもてるようにする。	○不祥事が起こる可能性があることを実感できる研修を実施する ○「ヒヤリ・ハット」の事例を交流することで身近な問題として捉えるようにする。	○月に1回、企画委員会で情報交換を行い、評価する。 ○管理職による指導・助言を行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○ともすれば教職員個人の技量に依存しがちである。 ○研修の実施が管理職によるものを中心としている。	○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。 ○不祥事防止に向け、主任層にリーダーとしての積極的な言動を促す。	○分掌会や各委員会等だけでなく、個人と管理職が日常的に対話ができる環境と時間をつくる。 ○不祥事防止に向けた研修を企画立案し、実行させる。	○月に1回、企画委員会で情報交換を行い、状況を把握する。 ○不祥事防止委員会による指導・助言を行う。
相談体制の充実	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知が年度当初のみであり、認知度が低い。 ○児童の実態把握及び、特別な支援を要する児童への対応について情報交換は密にしているが、状況に応じた対応が万全とはいえない。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 ○児童の様子を全職員で把握し、SCの助言やアセスを活用し、教師の力量向上を図る。	○いじめ・体罰・セクハラに関するアンケート及び毎月第3火曜日を元気・安心・相談日を実施する。 ○児童理解の会を年間を通して機能化させる。また、教師の力量向上を図るため、SCや専門の講師を招いて研修を行う。	○アンケート結果及び教育相談の内容の情報共有を行う。 ○学期末懇談会における保護者からの聴取記録を作成する。